

GR「テーマ研究」指導案全15回分

1 基本の流れ

流れ		学習活動	支援
導入	5分	点呼（グループごとにする）と時間短縮 本時の内容確認	「今日はここまでする」を確認する。
展開	35分	2 内容を参照	各グループ独自の指導案を作成してよい。簡単で良いのでshareに保存をお願いします。
まとめ	5分	来週の内容確認	「来週までに用意すること」を確認する。
	5分	5分前に終了し、教室に戻る。 教室に帰ったら振り返りシートの記入。	

2 展開の内容

5	16	オリエンテーション		学年、別途案
	23	内科・歯科検診		※クラス裁量
	30	テーマ研究①	ゼミ顔合わせ 外部講師による講演会は（別紙案）	<p>(1) 架け橋ゼミ、スポーツゼミ、復興プロジェクトゼミ、グローバルゼミは各会場でミニ講演会。</p> <p>(2) 文献研究ゼミは図書館よりレクチャー。資料探し。最低3冊は借りる。（読書の時間等を活用し読み込む）</p> <p>(3) 子どもサイエンスゼミ</p> <p>① 4～5人のグループに分ける（5分）</p> <p>② 積み木を使って子どもにどんな科学的な能力が身につくか話し合う（実際に積み木を使って話し合う）（20分）</p> <p>③ 発表する（10分）</p>
6	6	テーマ研究②	課題設定① 「仮課題の設定」	<p>(1) ゼミの趣旨説明、ワークシート集の配付（5分）</p> <p>(2) 近くの席で仮のグループ分け（5分）</p> <p>(3) ワークシートAを使い、現時点での課題設定を行う（10分）</p> <p>(4) グループでブレインライティング（10分） ※ワークシートAに本人が記入した後に続けて、その内容を深めあり、展開させるアイデアを書き足す。</p> <p>(5) ワークシートA本人2の欄記入（5分）</p> <p>◆来週の説明→時間は関連する教科書、書籍を2冊持参する。</p> <p>◆配付物は全てファイルに綴じる（進路ファイルを活用。ファイルがいっぱいになったら1年次に配付したGRファイル等に移して保管。3年次小論文や面接対策の資料になる可能性があることを意識する）</p>
	13	テーマ研究③	課題設定② 「資料の読み込みの練習と課題の絞り込み」	<p>(1) グループ分け（4～5人）（10分） 個人研究だが研究したい対象、実験手法、学問分野などが共通するものでグループ分けを行う。適宜グループワークを行うので、各ゼミの特性で話し合いしやすいグループができればよい。</p> <p>(2) ワークシートBキラーリーディングその1（計15分）</p> <p>① その本から知りたいことを①に記入。（2分）</p> <p>② 本の目次を中心に、必要だと思うキーワードを書きだす。一つ20秒くらいの速さで。（5分）</p> <p>③ ②の中から重要だと思われるものを3つ選び、書き込む。（5分）</p> <p>④ ③を基に、知りたいことの答えを要約する。（3分）</p> <p>(2) ワークシートBキラーリーディングその2 （残り時間でできるまで）</p> <p>◆来週の説明→次はどんな実験や調査が必要か考えるので資料が必要な人は持参すること。</p>
	20	テーマ研究④	仮説設定① 「何が知りたいか、どん	<p>(1) ワークシートA（課題設定のワーク）、B（キラーリーディング）を基にポスターひな形をできるだけ埋める。</p>

			な実験や調査が必要か」	<p>(10分)</p> <p>(3) ワークシートCキラーリーディング応用編を使い、どんな調査実験が必要か考える。(計15分)</p> <p>①この研究で何を知りたいかを①に記入。(2分)</p> <p>②その為に必要だと思うキーワードを書きだす。 一つ20秒くらいの速さで。(5分)</p> <p>③②の中から重要だと思われるものを3つ選び、書き込む。(5分)</p> <p>④③を基に、この研究でどんな実験・調査が必要かを要約する。(3分)</p> <p>(4) グループをつくり、発表し、内容を共有する。実験やアンケートを共同で行ったほうが良いものがあったら打ち合わせする。(10分)</p> <p>※時間があれば、「振り返りシート計画欄」に記入する。夏休み中にやるべきことを確認する。</p>
	27	期末考査		
7	4	進路研究	進路の手引き①	
	11	進路研究	進路の手引き②	
	18	テーマ研究⑥	仮説設定② 「研究テーマ・仮説の確定」	<p>(1) グループで着席する。</p> <p>(2) ポスターひな形を用い、グループで仮説設定が妥当か話し合う。司会を決め、順に発表し、文言や内容について互いに意見を出し合う。(10分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※仮説→予測される結論、結果のあたりをつける マーケティングなら市場はどれくらいのシェアで どれくらいも儲けを期待できるか。</p> </div> <p>(3) ポスターの修正 (5分)</p> <p>(4) 評価表を使い現時点の自分のポスターを評価してみる。(5分)</p> <p>(5) ゼミ独自の評価について意見交換する (5分)</p> <p>(5) グループの意見をゼミで発表し共有する。この内容を受けて、指導者で確定する。(10分)</p> <p>※7月中に染森までご報告ください。評価表を作成します。</p>
夏季休業				
9	5	グループワーク演習	SST (教育相談)	別途計画
	12	テーマ研究⑦	実験・検証 「夏休みの報告会、2学期の計画」	<p>①グループで夏休み中に調べた事、今後の計画を発表する。ワークシートDを原稿にしてグループ内で発表する(一人3分)、時間が余ったら質問をする時間にする。(15分)</p> <p>②グループで一番よく進めていた人を選びゼミ(クラス)全体で発表する。(10分)</p> <p>③振り返りシート計画の記入、訂正。情報交換(10分)</p> <p>※確認事項</p> <p><input type="checkbox"/> 実験等で教室外での活動を希望する場合、担当者は場所と期日を把握し、確実に点呼をとること。</p> <p><input type="checkbox"/> 実験や屋外での活動は安全に配慮すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 校外での活動は放課後や休日に行うものとする</p> <p><input type="checkbox"/> 参考文献を探したり、インターネットでの検索は基本的にGRの時間外で行う。ただし、担当者の判断でタブレットの使用可能。</p> <p>◆マーケティング、スポーツ、グローバルゼミはワークシートDを回収し、染森に提出。外部講師にお渡しし、中間講評の資料とします。</p>

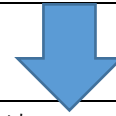
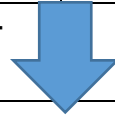
				◆次週は各自研究を進めます。
	19	テーマ研究⑧	実験・検証	前回の計画に基づき実験。または、分析結果をまとめる
	26	テーマ研究⑨	中間発表	別途計画
10	3	テーマ研究⑩	実験・検証	計画に基づき実験。または、分析結果をまとめる
	10	中間考査		
	17	テーマ研究⑪	実験・検証	計画に基づき実験。または、分析結果をまとめる
	24	テーマ研究⑫	実験・検証	計画に基づき実験。または、分析結果をまとめる
	31	テーマ研究⑬	実験・検証	計画に基づき実験。または、分析結果をまとめる
11	7	テーマ研究⑭	ポスター制作①	ポスター用紙にレイアウトし、清書する
	14	テーマ研究⑮	ポスター制作②	ポスター用紙にレイアウトし、清書する。
	21	テーマ研究⑯	ゼミ代表決め①	一次選考（別途計画）
	28	期末考査		
12	5	テーマ研究⑰	ゼミ代表決め②	本選考（別途計画）

ワークシートA 「課題設定の為のワーク」

2年 組 番 氏名

	①困っているのは誰か？	②どんなことで困っているか？	③どのように解決できると思うか？	④その方法をとると、どうなると思うか？	⑤要するにこんな探究がしたい！
本人 1					
①					
②					
③					
④					
本人 2					

ポスターに当てはめると・・・



本人 3	研究の目的と背景	研究方法	仮説	研究課題（テーマ）
---------	----------	------	----	-----------

【2年生GRテーマ研究ポスター（熊本復興プロジェクトゼミ）】

（※これはレイアウトの例です。最終的には自分で工夫して、見ている人が見やすく、惹きつけられるポスターに仕上げましょう。）

提案企画名（商品、イベント、仕組みのテーマ）

2年（ ）組（ ）号

氏名

【企画の背景】

復興へ向けた課題とその背景

参考企画（調べ学習）

本企画で解決したいこと

企画の狙い（誰を、どんな気持ちに）

【企画内容】

企画のコンセプト（RTB、ベネフィット、カテゴリー）

お客様の共感ポイント

企画の差別化ポイント（特徴）

企画の具体的な内容 [Product (サービス含)]

※絵やイラストを使って表現してください

価格 [Price]

場所 [Place]

広告広報 [Promotion]

ネーミング

キャッチフレーズ

期待できる効果

残された課題

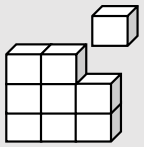
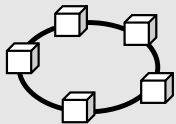

考察

～テーマ研究ICEルーブリック評価表～ H30年度

2年	組	番氏名	テーマ
----	---	-----	-----

**テーマ研究の大目標：「熊本の創造的復興に寄与できる人材の育成」
つまり『困難があっても自分なりに考え、解決できる人になろう！』**

それぞれの観点において、当てはまる事柄（文章）にすべて○を付けてください（複数回答可）。
マーケティングゼミのポスターのどこが当てはまるか考えてみましょう。

評価の観点 (ある程度できている:0.5点)		I(Ideas) -習得-	C(Connections) -活用-	E(Extensions) -探究-	
		(1点)	(1点)	(1点)	
ICE評価の概念		知識の蓄積ができていますか？情報の収集、分析、保存ができていますか？ 	複数の事柄を関係付けて考えることができますか？知識と日常生活での経験をつなげることができますか？ 	根拠を持って予測を立てられていますか？今までの知識を総動員して、未知の課題に論理的に取り組みられていますか？ 	小計
みつめる力	課題発見力	研究課題を適切に表現している。 →研究課題(テーマ)	研究課題に関連する学問領域が適切である →研究領域	世の中をよくしようとする視点がある。または、社会で共有したい知的好奇心を刺激する内容である。 →研究目的と背景	点
きわめる力	実行力・計画力	適切な資料を収集できた。 →参考文献	仮説を立証するための調査や実験を適切に行うことができた。 →研究の方法	実験や調査から独自性の高い考察を得ることができた。 →考察	点
	論理的思考力	仮説が成立している。 →仮説	数値を用いて検証している。 →結果、考察	証拠となる数値の妥当性を検証している。 →結果、考察	点
つなげる力	表現力	ポスターが丁寧で、文章が正確である。 →ポスター全体	ポスターにグラフや表、写真等が1つ以上ある。 →研究の方法、結果	一見して何のポスターであるかがわかり、人の興味・関心を引き付けられそうである。 →ポスター全体	点
	完成度、+α	英語文献の引用がある →参考文献	ゼミ独自の評価	ゼミ独自の評価	点
ICE評点		I得点	C得点	E得点	総計
		点	点	点	点

◆2学期の予定

- ①9月2日 SST
- ②9月12日 夏休み中の成果報告会
あとは黙々と調査、研究、ポスター作成です。
- ③11月21日、12月5日 ゼミ代表決め

◆夏休み中にできること

- ①新聞や雑誌のスクラップ→資料作り(家族と協力してもよい)
- ②自分なりに実験をしてデータをつくる(特にトレーニング系の人)
- ③オープンキャンパスで関係ありそうな資料、イベント、先生や学生さんと直接話す機会を見つける。(進路研究も兼ねる)
- ④同じような研究をしている人がいないか調べる。
いたら、検討しまだ解決されていない課題がないか確認する。
- ⑤関係ありそうな研究をしている大学のHPをしてみる。
研究室や大学の先生のブログまで深く検索する。
- ⑥ネットでの検索は英語でもやってみる。情報量が違う。
- ⑦フィールドワーク(現地で調査)に行くときは、事前の調査、準備を十分に。

【2年生GLテーマ研究ポスター】 作成のアドバイス

(※これはレイアウトの例です。最終的には自分で工夫して、見ている人が見やすく、惹きつけられるポスターに仕上げましょう。)

研究課題 (テーマ)

English : ※簡単な英文で表現してみましょう!

世の中を少し良くしようとする視点を持って設定できるといいね。

研究領域

2年 () 組 () 号
氏名

研究目的と背景 (取り組む問題を明確にする)

English :

仮説 (予想される結論)

例 : もし○○であれば△△である。
もし●●したら▲▲ができる。

English :

結論 (仮説に対する解答)

目的→仮説→結論が論理的に対応するように気をつけよう。

対応

English :

研究対象と研究の方法

(先行研究や文献との違いを明確にし、研究に独自性を持たせよう。)

どのような手順で研究を行ったか、他者に伝わるように書こう。

English :

結果 (調査や実験から何がわかったか、わかりやすくまとめる。)

数値やグラフを活用し、客観性を持たせると科学的になるね。

先行研究に異なった視点でメスを入れる。調べ学習にとどまるな!

English :

考察 (個々の結果を受けて、その結果が本研究の目的に対してどんな意味を持つのか、また仮説は検証されたのかを論じる。)

English :

参考文献

【2年生GLテーマ研究ポスター】

(※これはレイアウトの例です。最終的には自分で工夫して、見ている人が見やすく、惹きつけられるポスターに仕上げましょう。)

研究課題 (テーマ)

English :

研究領域

2年 () 組 () 号

氏名

研究目的と背景 (取り組む問題を明確にする)

English :

仮説 (予想される結論)

English :

結論 (仮説に対する解答)

English :

研究対象と研究の方法

(先行研究や文献との違いを明確にし、研究に独自性を持たせよう。)

English :

結果 (調査や実験から何がわかったか、わかりやすくまとめる。)

English :

考察

English :

参考文献

Abstract

当てはまる方に○をつけてください。
①添削希望(外部添削の予定です。) する・しない
②入試等で英語による面接がある・ない
③入試等で英作文がある・ない

3- ____ no ____ name _____

Theme _____

1 Introduction

.....
.....
.....
.....

2 Body

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

3 Conclusion

.....
.....
.....
.....

※外部添削に使用しますが、下の評価表は要約、英訳の参考にしてください。

Evaluation perspective/ICE	Ideas	Connections・Extensions
Ability to discover issues みつめる力(課題発見)	Recognition of their own problem 課題の明快さ	Unique perspective 独自性
Logical thinking きわめる力(論理的思考力)	Accuracy of grammar 文法の精度	Validness 客観的根拠がある
Utilization つなげる力(活用する力)	Conciseness in expression 簡潔な表現	The potential ability for development 発展が期待できる

Teacher's Comment